白神森林組合だより

2020.7
Vol.40

■発行／白神森林組合
〒016-0814
能代市能代町字中川原33-45
Tel.0185-54-9300
Fax.0185-54-9302
E-mail:shirakami@shiramori.or.jp
HPアドレス http://www.shiramori.or.jp

初夏の白神山地を望む

能代港から国外に輸出される日を待つ原木

白神森林組合

本・支所名	電話番号
本所	0185−54−9300
能代支所	0185−54−7402
八峰支所	0185−77−2132
三種支所	0185−84−2030
藤里支所	0185−79−1562
二ツ井支所	0185−73−2938
木材流通センター	0185−59−2605
二ツ井加工場	0185−73−5818

CONTENTS

P2……総代会～組合長あいさつ
P3……総代会～提出議案
P4……総代会～事業計画
P5……総代会～損益計算書・計画，外
P6……木材共販結果・市況動向
P7……地区座談会
P8……林業コンクール・新入技能職員の紹介

第26回 通常総代会

第26回通常総代会は、５月27日、キャッスルホテル能代にて開催致しました。

新型コロナウイルス感染予防対策のため、書面による議決権行使をお願いし、実出席者少数での実施という、通常とは異なる形での開催となりましたが、常盤地区の鈴木一真氏を議長とし、全議案原案通り可決承認されました。

あいさつをする金野組合長

あいさつ

代表理事組合長　**金野忠徳**

第二十六回通常総代会に当たり、ご挨拶申し上げます。

総代の皆さんには、農繁期の未だ終わらないこの時期にも拘わらず、ご出席を頂き有難うございます。

本年度の総代会は、新型コロナウイルスの関係で、総代会はできるだけ書面議決でお願いをし、小人数で開催して感染防止に努めるようにと、県や上部団体からの強い指導もあって、ご来賓の方々にも、招待を遠慮して頂いての総代会となりまして大変申し訳なく思っております。

さて、昨年一年間を振り返ってみますと、幾多の出来事がありました。

先ず、三十年間続いた「平成」の年号が、天皇陛下が生存中に「令和」へと変わりました。

天皇陛下が生存中に年号が変わるのは、非常に稀なことで、これまでの歴史上でも二例程しかないと言われております。

一方、毎年のように大型化していく台風や、集中豪雨による、土砂崩れや洪水の災害で、家屋や田畑などの被害のほか、尊い人命までもが犠牲となっております。

これらの要因は、地球温暖化によるものだとも言われております。

このような背景もあり、昨年度「森林経営管理法」と言う法律が新たに制定され施行されているところであります。

この法律の目的は、荒れ果てた森林を整備し、自然災害を防止するとともに、循環型林業を確立するためであります。

この山の整備を、一番身近な全国一七〇〇の市町村が責任をもって進めなさい。

と言う国からの命令であります。

これに伴って「森林環境税」と言う特別会計を設け、初年度総額二〇〇億円を市町村に交付しております。

この環境税は、当初三か年間は二〇〇億円でしたが、改正され、令和二年度の今年度からは、倍額の四〇〇億円となりました。

これにより、能代市約四〇〇〇万円・藤里町約一一〇〇万円・八峰町一四〇〇万円・三種町一六〇〇万円が、国から交付されることになります。

この交付金の使い道は、民有林のうちの私有林に使われることになっておりますので、現在、各市町の「農林課」などで事務作業を進めているとこ

議長　常盤地区　鈴木一真氏

ろです。

自分所有の森林を自分で「維持管理」できない所有者は、所有権はそのままに、市町村と「委託契約」をして管理をしてもらうことになります。

次に令和元年度の事業について触れたいと思います。

ほぼ計画通りで、事業全体の取扱高で八億六千万、三千一七〇万円の税引前当期利益を計上することが出来ました。そのため、前年度に引き続き組合員の皆さんに一％の出資配当をすることが出来ました。

次に令和二年度の事業計画についてですが、前年度を参考に計画をしております。

しかし、先程申し上げました通り、新型コロナウイルスの関係で、丸太を納めている川下の製材会社や合板工場が、減産体制に入っている関係で、丸太の需要が相当落ち込むと想定されます。

どの程度の落ち込みになるかは、現在のところ見通しがつかない訳ですが、製材会社や丸太を輸出している中国の状況を見極めながら対応をして参ります。

このように、不安定な要素を抱えての新年度となりましたが、関係団体や組合員の協力を得ながら役職員一同、皆で頑張って参りますので、今年度も引き続きよろしくお願いを申し上げ、私の挨拶を終わります。

提出議案

議案第1号　令和元年度業務報告書の承認について

議案第2号　令和2年度事業計画書の決定について

議案第3号　令和2年度一組合員に対する貸付金の最高限度について

議案第4号　令和2年度借入金の最高限度について

議案第5号　令和2年度理事及び監事の報酬決定について

議案第6号　令和2年度債務保証の最高限度について

議案第7号　余裕金の預入先金融機関について

議案第8号　出資配当金の増資について

議案第9号　退任役員に対する慰労金の支給について

議案第10号　定款附属書　役員選挙規程の一部改正について

議案第11号　定款附属書　総代選挙規程の一部改正について

附帯決議事項

1．決議事項中、行政庁の認可承認等を必要とするものについて、総代会決議の内容を変えない字句等の変更は理事会に一任する。

2．年度途中で事業計画の一部について軽微な変更を要するに至ったときは、理事会で計画の変更ができることを承認する。

令和2年度 事業計画

昨年末に発生した、新型コロナウイルス感染症は、いまだ終息の兆しが見えないどころか、拡大の一途をたどっており、世界経済は大きな打撃を受け、わが国経済もまた、先行きの見えない状況に陥っております。

秋田県内においても、徐々に徐々に感染が拡大し、企業経営環境もより一層厳しさを増してきており、景気の先行きも懸念される状況にあります。

このような中、昨年五月に「令和」へと元号が改まり、一つの時代の転換期を迎えました。林業分野においても、森林環境譲与税の配分が始まり、新たな森林経営管理制度がスタートしました。

当組合は、系統運動　J Forest「森林・林業・山村未来創造運動」～次代へ森を活かして地域を創る～　の最終年度として

(1)　組合員の買取林産への対応及び主伐後の再造林の推進

(2)　組合員の補助事業の実施強化

(3)　組合員の新植・再造林事業への補助実施強化

(4)　管内森林情報の精緻化

以上四点を今年度の重点項目として事業展開して参ります。

又、今年度の公的機関の利用につきましては、森林管理署、秋田県・管内各市町のほか、森林研究・整備機構及び秋田県林業公社からの森林整備事業及び木材の買取等の入札に参加し、地域の負託に応えて参ります。

新型コロナウイルス感染症の拡大により、林業情勢も他産業同様、一層厳しさを増してきておりますが、厳しい時こそ「組合員のための森林組合である」ことを念頭に置き、国・県・市町等の関係機関・団体との連携を強化しながら全力で取り組んで参りますので、今年度も特段のご指導、ご協力を心よりお願い申し上げます。

指導部門

組合員研修会、地区座談会を通じ、組合員の皆様からの意見・要望に的確に対応致します。

広報誌及び昨年リニューアルしたHPを活用し、有益な森林情報を提供して参ります。

昨年度から実施した、「造林（植栽）促進助成費」を継続強化し、組合員負担ゼロでの植栽事業を目指します。

販売部門

昨年度、新たに二台の高性能林業機械を導入し、組合所有の高性能林業機械は六台となりましたので、林産班（伐採班）二班体制での素材生産の実施を強化して参ります。

素材生産体制の強化に伴い、近年増加傾向にある組合員の皆様からの立木買取依頼に応えると共に、森林づくり課と連携し、主伐後の再造林を推進して参ります。

加工部門

取扱量の減少及び施設の老朽化により、年々厳しさを増してきている状況ではありますが、今年度も春季と秋季の季節限定操業を実施致します。

森林整備部門

森林整備部門では、「秋田県再造林定着促進事業」、「造林（植栽）促進助成費」を活用し、所有者負担ゼロでの植栽を目標に掲げ、組合員に対し再造林について積極的に働きかけ、健全な森林を造成していくことで、資源の循環利用を進めて参ります。

又、昨年度からスタートした森林経営管理制度については、十七名の認定森林施業プランナーの知識や経験を活かし、「境界の明確化事業」等の市町が行う事業に対し、積極的に協力することで、森林情報の精緻化及び地域森林の適切な管理に努めて参ります。

平成31(令和元)年度 損益計算書
令和２年度 損益計画

平成31(令和元)年度　損益計算書

平成31年４月１日から令和２年３月31日まで　（単位：千円）

科目	小計	合計
Ⅰ事業総損益		
1 事業総収益	860,401	
2 事業総費用	718,232	
事業総利益		142,169
Ⅱ事業損益		
1 人件費	82,298	
2 旅費交通費	2,513	
3 事務費	843	
4 業務費	2,940	
5 諸税負担金	5,297	
6 施設費	19,280	
7 雑費	1,373	
事業管理費計		114,544
事業利益		27,625
Ⅲ経常損益		
1事業外収益	4,500	
2事業外費用	498	
事業外損益		4,002
経常利益		31,627
Ⅳ特別損益		
1特別利益	28,528	
2特別損失	28,425	
特別損益		103
税引前当期利益		31,730
法人税、住民税及び事業税額		▲14,000
当期剰余金		17,730
前期繰越剰余金		5,674
当期未処分剰余金		23,404

令和2年度　損益計画

令和２年４月１日から令和３年３月31日まで　（単位：千円）

科目	小計	合計
Ⅰ事業総損益		
1 事業総収益	776,873	
2 事業総費用	635,447	
事業総利益		141,426
Ⅱ事業損益		
1 人件費	91,163	
2 旅費交通費	3,288	
3 事務費	2,221	
4 業務費	4,221	
5 諸税負担金	5,050	
6 施設費	24,023	
7 雑費	1,751	
事業管理費計		131,717
事業利益		9,709
Ⅲ経常損益		
1事業外収益	2,524	
2事業外費用	727	
事業外損益		1,797
経常利益		11,506
Ⅳ特別損益		
1特別利益	0	
2特別損失	0	
特別損益		0
税引前当期利益		11,506
法人税、住民税及び事業税額		▲ 3,900
当期剰余金		7,606
前期繰越剰余金		6,274
当期未処分剰余金		13,880

平成31年度　剰余金処分案

（単位：千円）

科目	内訳	小計	合計
Ⅰ当期未処分剰余金	当期剰余金	17,730	
	繰越剰余金	5,674	
	計		23,404
Ⅱ剰余金処分額			17,130
1 法定準備金	当期剰余金の5分の1以上	15,000	
2 任意積立金			
3 出資配当金	出資額の1％	2,130	
4 事業分量配当金			
Ⅲ次期繰越剰余金			6,274

※　次期繰越剰余金中、教育情報資金は、1,700千円である。

組合員数及び出資金（R2.3.31現在）

（単位：人、口、千円）

資格区分	組合員数	出資口数	出資金額
	人	口	千円
正組合員	4,329	213,781	213,781
准組合員	13	362	362
合計	4,342	214,143	214,143

（注意）端数処理の関係で、合計が一致しない場合があります。

白神木材流通センター木材共販結果及び市況動向

直近開催の木材共販結果
（第367回、入札日：令和２年７月１日）

★出 品 材 積：1,401㎥　★売払材積：932㎥

★販 売 金 額：7,689千円　★平均価格：8,243円／㎥

★共販参加者：７社　★販 売 者：７社

★販　売　率：66%

径級別単価の詳細　（単位：円）

径級範囲（cm）	１㎥単価				石単価
	安　値	高　値	平　均	前月比	平　均
10～14	5,335	5,421	5,397	↓	1,499
16～22	7,901	8,514	7,952	↓	2,209
24～28	9,220	11,151	10,497	↓	2,916
30～34	—	9,400	9,400	↑	2,611
36～44	—	—	—		
46～	—	—	—		

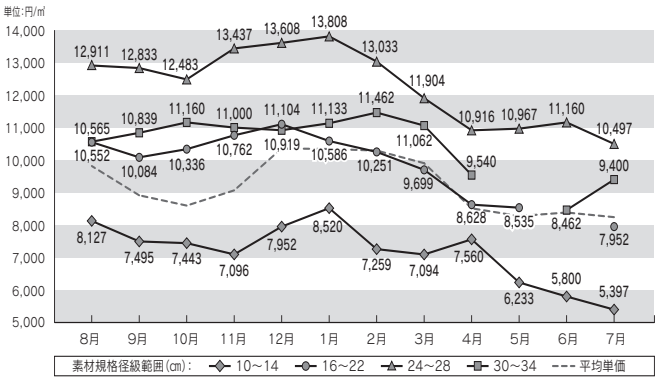
〈共販概況〉

１．価格状況：全体の平均販売単価は8,243円であった。主要４規格の単価は３月の入札以降引き合いが弱く下落の状態がつづいている。

２．需要状況：世界的な感染症の影響により、製材品の動きが鈍く、各製材所とも原木の仕入れを制限している状態。

３．入札状況：入札に付した31物件に７社が応札し、「落札」が25件、「不落」が０件、「無応札」が６件であった。１物件当たりの平均応札枚数は1.13枚であった。

木材流通センター主要規格材の平均販売単価推移
（昨年８月から本年７月まで）



新型コロナウイルス対策関連記事に当組合の内容が掲載されました。

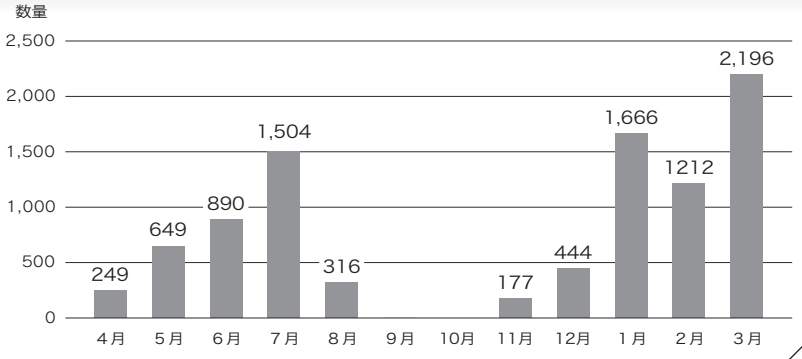
経済回復へ一歩
県コロナ対策事業をみる
◁ 7 ▷

林業

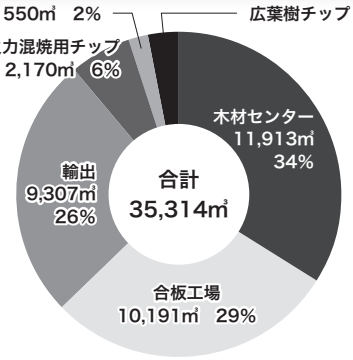
経営、雇用維持後押し

秋田さきがけ新報　令和２年６月13日朝刊に掲載

令和元年度　能代港への輸出用原木出荷実績



令和元年度　素材の出荷先別割合（林業公社含まず）



地区座談会

令和元年度の地区座談会を、令和二年二月十四日から二十一日迄に、三種地区を皮切りに全五地区で開催致しました。期間中、全会場に秋田県森づくり推進課及び各市町林務担当職員の方々に参加いただき、森林環境税等の行政に関連する質疑について、ご回答をいただき、組合としても大変参考になりました。

皆様から頂戴した貴重なご意見・ご要望は、今後の組合運営に活かして参ります。

【主な質疑事項】

2月14日(金)

三種地区

三種支所
組合員出席数17名

Q (環境税に関連して)町では、地番等が不明な場合、教えてくれるのか？

A 筆界未定地や琴丘地区の入会地などの場所を確定することは出来ませんが、おおよその位置は、航空写真・地籍調査図等を合わせた図面をお見せすることは可能です。(町回答)

Q ナラ枯れ被害は、幹が太くなるほど、かかりやすいのか？

A その通りで、林齢が高くなるほど被害を受けやすくなっております。出来るだけ伐採・利用し、若返りを図ることが被害防止に繋がります。(県回答)

2月17日(月)

藤里地区

藤里町総合開発センター
組合員出席数21名

Q 市では、森林環境税をどのように使うつもりか？

A まずは、意向調査を行う準備段階として、林地台帳・森林簿等の情報修正に使用する予定です。(市回答)

Q 今後どのように山を管理していけば利益を上げる事が出来るのか調査して欲しい。

A 組合員であれば、無料で施業プラン書を作成致しますので、その上で事業実施するかどうかの判断をしていただければと思います。

2月18日(火)

二ツ井地区

二ツ井公民館
組合員出席数16名

2月20日(木)

能代地区

能代工業団地交流会館
組合員出席数18名

Q 林産班の役割は？

A 四名で、伐倒一名、機械オペ三名(ザウルス・フォワーダ・ハーベスタ)体制で実施しております。

Q 以前、組合員研修会で、高性能林業機械の現地研修があったが、又、実施して欲しい。

A 要望にお応え出来るよう、企画検討致します。

Q 販売部門の決算見込額(四億九千万)の内、組合員の搬出間伐による取扱高はどれくらいあるのか？

A 二億五、六〇〇万と半分以上を占めております。

Q 立木の買取はしている？

A 買取します。森林活用課で担当しておりますので、ご連絡下さい。

2月21日(金)

八峰地区

八峰町文化交流センター
組合員出席数25名

ご自分の森林で不明な点や、山の事で知りたい事などありましたら、いつでもご連絡下さい。

訃報

理事（藤里町）　故　川村吉克　様

謹んで故人のご冥福をお祈り申し上げます

第54回 秋田県林業経営コンクール

▼林業経営の部

優秀賞（秋田県知事賞）

※能代山本管内は平成十七年以来の受賞

久喜沢生産森林組合（能代市）

自治会役員　工藤　巌 氏

▼森林整備推進功労の部

秋田県知事感謝状

辻不動産株式会社（秋田市～三種町森林整備）

常務取締役　大丸文男 氏

新採用 技能職員の紹介 頑張ってます！

菊池　智人（能代市二ツ井町）

前職も林業をやってきましたが、今まであまりやった事のない仕事を現在やっていて、毎日が勉強になり、先輩たちにはいつも丁寧に指導してもらってます。ベテラン先輩たちの技、技術には驚かされる毎日です。その技、技術を目で盗み、現場でも実践し、一日でも早く先輩たちに追い付ける様、そして先輩たちに早く認めてもらえる様、毎日を大事に頑張りたいです。

諸沢　大輔（能代市）

林業に就いて三ヶ月が過ぎましたが、やる事全てが初めてで毎日が勉強です。指導員や先輩方の技術には日々驚かされています。

まだまだ知識不足ではありますが、仕事の内容も少しずつ理解出来るようになってきたと感じています。

また、『林業機械』への興味もあるので、知識を学び、実践し少しでも早く貢献できるよう頑張りたいです。

令和元年度導入 高性能林業機械 稼働中

◀フェラーバンチャ（八峰町水沢地内）

▶フォワーダ（能代市桧山地内）

四期連続の出資配当

総代会において、全組合員に対し出資金の１％の配当について承認をいただきました。これも偏に組合員の皆様のお陰と心より感謝申し上げます。

「出資配当及び出資金証明書」は大切に保管してください。

『組合員』のお名前、住所など変更についてご連絡お待ちしております。

☎0185-54-9300

ホームページにも各種届出について掲載されております。

「白神森林組合」と検索してください！